



有限会社 茅ヶ崎方式英語会 102-0073 東京都千代田区九段北1-6-6 カサイビル I
Tel/Fax 03-3288-2770 <http://www.chigasakieigo.com/> e-mail: info@chigasakieigo.com

はじめに

秋の気配が日に日に深まってまいりました。会員の皆様は新学期に向け気持ちを新たにしていっていらっしゃると思います。さて今回は、長年にわたり C4 教材の作成に携わっている大塚敏夫さんに皆様へのメッセージを発信していただきました。NHK 国際放送で長く英語ニュースを担当し、現在も、NHK の英語ニュース原稿の監修の業務に当たっており、移り変わる英語ジャーナリズムの最前線で英語への研鑽を深めておられます。英語の勉強の楽しさを、書くという方向から紹介していただきました。



英語を書くことの楽しみ

C4ライター 大塚 敏夫

最近のニュースから：Japan's Prime Minister Yasuo Fukuda abruptly announced late Monday that he was stepping down. この英文は「私は辞任します。」と突然表明した。」と言っています。進行形を使って「もう辞職の過程に入っている」という強い意思が出ています。一方同じ日のニュースで「Fukuda has resigned after less than a year in job.」という外電がありました。「has resigned」となると福田氏は完全に職を離れ、すでに a former prime minister になったのかと我々は思いますが、氏は次期首相が就任する日まで在職します。英語では「resign」は「辞意を表明する」に他なりません。「辞める」と公言した途端、その人は「resign」したということになります。英々辞典には「to officially announce that you have decided to leave your job or organization」[ロングマン]:「to give up one's office, especially formally and definitely」(Webster International) と説明されています。

書く意識を持って英文を読んでいると、各英語表現のニュアンスの差が気になり辞書を引いたり文法書を開いて確かめようと言う気にしばしばなります。

“When the teacher entered the classroom, the pupils all stood up.” “As the teacher walked into the room, the students stood up.” この“when” “as” はどう違うのでしょうか？ when はその行為を一まとめで眺めており大抵の場合行為が完了したことを表します。ですから、生徒は先生が教壇の中央に着くなど通例の入室の行為が完了したあとに起立したのです。as はその行為の最中にあることを表すので、生徒は先生がドアを開けて一歩足を踏み入れたら立つ事になります。 when = after or as soon as something happens (ロングマン) as = during or at the same time that (ウエブスター)

それでは、These paintings are of excellent artistic value. と The woman candidate has conservative values. では value の単数・複数の違いで表現されているものがどう変わるのでしょうか？ 単数は不加算の抽象名詞として意味は「価値」で、前の文は“素晴らしい芸術的価値の絵画”となります。values となると、「社会や個人の価値観・価値体系」と価値が具体的な形を持った物になります。後の文は“その女性候補者は保守的な価値観を持っている”です。御存知でしょうが、“chicken”は数えられない物質名詞の「鶏肉」で、“a chicken, chickens”となると具体的な形を持った存在の“鶏”になります。

私は42歳から仕事で英語を書くことを始めました。最初は The Japan Times の記事についても随分辞書を引きそれでも言い回しが解らない事がありました。

「英作文」は「英借文」と昔から言われている事は私の経験から、真理だと思えます。まず覚えて沢山手持ちの語彙を作る事、自由になる語彙は幾何級数的に増えます。書く意欲が増してくると英文を背後から見て時にはレントゲンにかけて見たくになります。文法を知るのが楽しくなります。前置詞を扱うのがかなり愉快になります。単語の中核の意味や語源について知りたくになります。すなわち、われわれの前の英語の世界はさらに広がり、奥行きが増し、英語への興味はますます深まってゆく、というわけです。

~~~~ ~~~~ ~~~~ ~~~~ ~~~~

## お待ちかね、いよいよ Book-0 10月発売！

茅ヶ崎方式英語学習法の入門編として、「茅ヶ崎方式英語教本 Book-0」（ゼロからスタート再学習の英語）が、茅ヶ崎出版より発売されます。従来のニュース・リスニング／ライティングのための教本とは異なり、誰でも知っている著名人の人物評伝をベースに構成されています。中・高生や英語入門者にとり、学習しやすく、興味深い内容です。



この教本の著者は茅ヶ崎方式英語会ライター・グループの5名です。



また、Book-0 を基本教本として使用する学習会のための新しいコース (Class-0) も、09年4月(第56期)スタートに向けて、準備中です。詳細は追ってお知らせいたします。ご期待下さい！

～協力校便り～

## 『神戸地方裁判デー体験記』 -----裁判員制度を来年に控えて

阪急西宮北口校 C3 会員 野々村 詢三

神戸地方裁判デー訪問のキッカケは、阪急西宮北口校でいつも親切・丁寧な指導をして頂いている和久津先生からの情報提供でした。そのうえ、英語教材にも裁判の記事がしばしば出てきており、毎月 10 日に「神戸地裁裁判デー」があることを教えて頂きました。百聞は一見にしかずで、来年から「裁判員制度」が始まることもあり、勇気を持って7月10日に参加体験をしてまいりました。

私はすでにシルバーの年代ですがお恥ずかしいことに、司法・立法・行政の三権分立の中でも司法分野のことはほとんど知識がなく、まして裁判所は特別な関係者のみが立ち入る場所で神聖で近寄り難い *untouchable* などところだとの強い思い込みもあり、一度も訪問したことはありませんでした。そのため今回の見学は最初はおっかなびっくりの気持ちで参加しましたが結果的には大変よかったし、自分のいままでの偏狭な考えが一変し裁判所を知り、見直す大きなステップとなり大変意義深いものでした。

体験参加者は若い女性の方々も含めて8人でしたが、最初に裁判総括官から我が国の裁判所制度の概略説明を受けました。冒頭説明で「裁判の傍聴は事前申し込みなどの特別の手続きは必要なく、公開の法廷で行われる裁判は原則として誰でも傍聴でき、直接法廷に入ることができます」と聞き、私には大変な驚きでした。

次に、10日当日行われていた“本番”の刑事裁判の傍聴を体験しました。法廷に入る時はいささか緊張とともに何とも表現のしようがない、別世界に入るような複雑な気持ちになりました。この事件は第2回目の法廷で時間は約50分でしたが、法廷内は裁判官、検察官、被告、弁護士、事務官等の直接関係者そして傍聴見学者の私たちでした。判決の宣告は後日あらためて行われるとのことでした。

見学の最後に、来年からはじまる『裁判員制度』実施の法廷内の見学と説明があり、一般国民から選出された裁判員も刑事裁判に参加して被告が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするかを裁判官と共に判断する制度だと聞きました。

体験参加の感想としては、裁判員として指名された場合には、いろいろと心の葛藤も生ずる予感もします。でも、あらためて、憲法を紐解くと「裁判の対審及び判決は、公開法廷でこれを行う。(Trials shall be conducted and judgment declared publicly) とあり、裁判員制度は国民の理解と公平性に期待し国民の参加を呼び掛けているのだと、今回の裁判デーに参加して勉強させていただきました。有意義な体験参加の動機づけをしてもらった、茅ヶ崎方式での学習会にあらためて感謝いたします。

(2008・7・10 記)

## ジャズとワインと英語の夕辺

浜松校 C3会員 大石 世志子

七夕のイヴに浜松市内でも有名なワインバーA'abend にジャズの歌声が流れました。歌姫はフィリピン出身のプロのジャズヴォーカリスト、マリテス。主催は「楽しいこと大好き」揃いの茅ヶ崎方式浜松校。今年の大イベントです。

計画当初は20~30人くらいでワイン片手にジャズを聴くといった軽いノリだったのですがおしゃれな企画に予想を超えるなんと58名が集ったのです。これでマリテスのプロ魂に火がつき、「これは立派なライブショーよ！」ということでプロのピアニストを急遽お呼びすることになり、パーティは一気に本格的になりました。

ソムリエによるサーベラージュ(シャンパンの口をサーベルでカットして栓を飛ばすヨーロッパに伝わるパフォーマンス)でパーティの口火が切られました。教室主催の月一度の英会話の講師としてお越しいただいたネイティブの先生方をお招きしたのでテーブルでは日本語、英語の飛び交うおしゃべりに花が咲きました。

ワインバーでありながらフードコーナーにはなぜか餃子が？はい、全国的にも有名になったB級グルメ「浜松餃子」です。実はこのA'abendのオーナーは「浜松餃子学会」の副会長でここは隠れた「餃子の旨い店」でもあるというのです。

食事の後はいよいよマリテスのライブです。ワイングラスを片手にマリテスの甘く切ない歌声に酔いしれました。1曲、2曲と進むうちにその歌声はますます艶を帯び、スタンダードナンバーからオリジナル曲まで、もっと聴きたいと思ったのは私だけではない筈です。マリテスの歌唱指導により全員で歌うFly me to the moon「さすが英語学習者、皆さん発音がいいですね。」とプロから褒めていただきましたが、まんざらリップサービスではないと信じたところです。

英語教室のイベントというとクリスマスパーティやハロウィーンなど子供向けのものが多い中、今回の様な「大人の時間」を楽しむイベントは貴重なものだと思います。また是非素敵なことを計画いたしましょう。乾杯！

Message from Martitess:

Shigemi, Yeah, I really enjoyed the night!  
You are lucky to have such beautiful people  
around you.



~~~~ ♪ ~~~~ ~~~~ ♪ ~~~~ ~~~~ ♪ ~~~~

あとがき: 今回は会員さんより「神戸地方裁判デー」での貴重な体験や協力校主催の楽しいイベントの様などお便りをいただきました。皆様のいろいろな体験談を引きつづき、どしどし、投稿してください。お待ちしております。